

トマト畑 から



第4号

華やかな春



今、久万高原は花ざかり、見事な桜に元気をもたらしました。今年も咲いてくれてありがとう、久万高原町の春はほんとにやさしいです。

さて、この冬、久万高原町ではクラスターも発生し、コロナの感染者は今までにない増。愛媛県も久万高原町も社会活動を止めないwithコロナの方針。ならば検査の範囲を思い切って広げることが重要です。そして希望者には何度でも無料で受けられる検査体制が必要です。

2月24日に開始されたロシアによるウクライナ侵略。戦国時代を思わせる力による領土拡大。童話「北風と太陽」の話が思い浮かび、深く考えさせられた。

どんな理由があっても戦争はダメ。核兵器の存在が平和を難しくしている。今、私は思う、国のトップを選ぶ時、絶対に武力攻撃をする人を選ばないこと。主権在民、私たちがしっかりしなければなりません。



道路河川は大丈夫ですか

～補修を要求しました(東明神地区)

昨年末から1月にかけて東明神を中心に地域を回り、住民の話を聞いてまとめた9項目の補修要望書を、2月25日に後援会のメンバーと一緒に役場に申し入れにいきました。今回で4回目になります。緊急なものから取りかかるとのことでした。写真と地図を添えてきちんと伝えました。

コロナの無料抗原検査を要求しました

オミクロン株による第6波のコロナ感染者が久万高原町でも増え始めた1月、コロナの検査を無料で受けられるようにしてほしいと発言し、2月の臨時議会の時に再度要求したところ、「無料で検査を受けられるようにした。久万高原町のホームページに載せている。」とのこと。早速検査に行かれた方もいました。皆さんも気になる時には是非利用して下さい。

こんな声聞いたよ

- ・(Aさん)大野さんの一般質問を初めて聞きました。言葉もはっきりしていて、言っていることがとてもよく分かった。これからも町民のためにがんばって下さい。また、傍聴に行きます。
- ・(Bさん)「ごみ収集の日程について」という環境整備課のお知らせに、ごみステーションは自治会で管理をしているため、自治会未加入の方などは環境衛生センターに直接持ち込みましょうということが書かれているが、高齢で組をぬけた方もいる。そういった方に環境衛生センターに直接持って来いというのは無理だと思うし、あんまりだと思う。
- ・(Cさん)ガソリン代が上がり続け、この4月から値段が上がったものもあるのに、年金は下がった。物価が上がるのなら年金も上がってくれないとこの先が心配だ。
- ・(Dさん)高知から東川に引っ越してきた。昔は芸者さんがいたらしくにぎやかだったと聞く。今もいいところだ。(ジョン万次郎の通った道がある)
- ・(Eさん)大野さんのロシアのウクライナ侵略の街宣が聞こえた。戦争はまことしやかな理由をつけて始めるが、実はお金が絡んでいることが多い。

交通利用券取得しましたか

- 75歳以上の方は誰でももらえます(免許証を返納していない方も、運転をしている方でもOK)
 - 障害者手帳を持っている方は年齢を問わずもらえます
- 是非申請してもらいましょう。

3月議会での私の一般質問

① 子育て支援について

(問)4月から、国の方針として国保料の改定がおこなわれ、未就学児の均等割りの半額を国費で補助することになった。町長はどう評価しているか。

(町長)国保の均等割は加入者一人一人に均等にかかるものであるため、家族に子どもが増えると負担が重くなるしくみだ。国保税にだけあるもので、加入者の負担になっており、全国的にも課題となっている。今回の改正は子育て世帯の経済的な負担軽減を目的としたもので評価できる。

(問)久万高原町ではどのようなひとが国保に加入しているか。

(住民課長)年金受給者、無職の方、農林業従事者、自営業、パートや非正規労働者が加入している。久万高原町の特徴としては法定減免を受けている方の割合が国や県と比較してかなり高く、所得が低い方が多い。

(問)収入のない子どもへの均等割除外は国の財源ですべきだと思うが、現在、29の自治体で独自の財源で取り組んでいる。また、18歳までの医療費無料化も子育て支援に効果があると言われている。できることから実施してほしい。状況は待ったなしだ。

(町長)“子育てにやさしい町”は私も標榜している。町財源でするには基金の取り崩し、一般会計からの繰り入れとなり、公平性が保てない。医療費無料化については少し時間をいただいて検討したい。

② デマンドタクシーの継続運行のために

(問)新たな交通機関が生まれている。実証実験を終え、新たなスタートを切るデマンドタクシーに必要なに応じて補助金を増やす考えはあるか。

(町長)一路線10万円で、4路線の合計40万円から運賃会費を差し引いた30万円を支給してきた。令和4年度も予算の範囲で支援をしたい。現在、令和3年度と違う算出方法を考えており、補助金の増減は答えられない。

(問)住民はドア to ドアの要求が強いが、町としてどのようなサービスを考えているか。

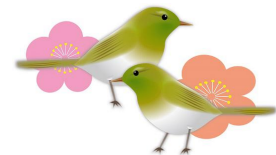
(町長)ドア to ドアは便利が良いが、バスに対してタクシー代は高い。その解決策として75歳以上の高齢者に交通利用券を配布している。基幹となるバス路線がないところは有償運送やデマンドタクシーを組み合わせる自宅から利用できるようにしたい。

(問)今からがスタートだ。事業を展開するのに住民の要求をどのように把握していくか。

(総務課長)計画策定の中で声を聞き、生かしていきたい。

合同委員会での私の質問の中から

- ・面河のTさんがママシにかまれ、救急車を呼んだが40分かかった。もっと早くならないか
- 救急車は久万と美川の2箇所だ。時間がかかるようならドクターヘリを使う。
- ・不妊治療の助成はあるのか ○ある。上限20万円まで助成する
- ・移住者用の賃貸住宅を作る考えはあるか ○ない
- ・久万高原町は自殺者が多いと聞くが実際はどう
- 平成29年、30年の自殺率は全国の統計の2倍以上となっている。今後も原因を追求し、自殺者数の減少に取り組んでいきたい。



おわりに

3月議会は年度末でもあり、多くの議題がありました。町の事業に対してもっともっと勉強し、判断していきたいと思えます。

また、まちづくり基本条例の一部改正が行われました。これは平成19年に作られたもので「行政運営に対する意識を行政主導から町民主導へと、まちづくりの基軸を大きく転換していく必要がある。」と書かれています。条文もその達成のためとなっています。産業建設特別委員会で3点ほど質問し答弁をもらいましたが、改定前の条例から後退している感がぬぐえません。

大切なことは住民一人一人が主人公であるという意識をしっかりと持って、実践していくことだと思います。住民みんなでしっかりと声をあげましょう。一緒に頑張りましょう。